

力あわせて願い実現

近畿各府県の地方議員が行った政府交渉で出された要求を国会議員が質問で取り上げる——近畿の国会議員・地方議員の連携プレイで要求が実現しています。

小中校エアコン電気代

増加分を交付税で措置



小中学校のエアコン設置は運動と論戦の中、国が補正予算を組み前進しています。ところが電気代を気にして管理職がエアコンを切つて回る——党奈良県委員会の交渉（写真）で県議が指摘しました。

山下よしき参院議員は総務委員会でエアコン設置に伴う電気代の増額分への支援を要求。総務相は「来年度から所要額の見込みを（普通交付税で）適切に措置する」と答えました。（11月22日）

学校ブロック塀

撤去へ国が財政支援

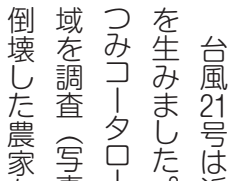


大阪北部地震で高槻市の女子児童が倒壊したブロック塀の下敷きになつて死亡——悲劇を繰り返すなど大阪府議団と北摂地域の市議団は国会議員とともに緊急に政府交渉（7月12日、写真）、学校と通学路のブロック塀の撤去・改修への財政支援

を要求しました。文科省は、学校ブロック塀の撤去・改修補助を予算に計上したいと表明。すでに撤去・改修を行っている自治体には、来年度を待たずに補助することも交渉の中で約束、補正予算に盛り込まれました。

農業用ビニールハウス

台風被害に9割補助



台風21号は近畿地方で大きな被害を生みました。山下、宮本岳志、たつみコータロー各議員は大阪泉州地域を調査（写真）、ビニールハウスが倒壊した農家から「修理に1棟100万

円かかる」などの実情を聞きました。日本共産党は、農民連とともに政府に支援を要請。この中で農業用ハウス再建に国と自治体で最大9割を負担する支援策が決まりました。



特別支援学校

過密打開へ現場を調査



障害のある児童が通う特別支援学校が過大・過密化している問題で、山下参院議員はこの秋、滋賀、大阪、兵庫の支援学校を調査しました。（写真は滋賀）

児童数は10年間で1.5〜1.9倍に。野洲では対応するため3回の校舎増設を行い、長さ100mを超える廊下が生まれました。この実態を打開するため支援学校に設置基準を求める運動が広がっています。



公費1兆円、「均等割」「世帯割」廃止

政策を発表する立井亮政策委員長と倉林参院議員（11月1日）



国保料値下げができる

倉林参院議員「ぜひ実現を」に共感
高すぎる国保料。公費1兆円を投入、「均等割」「世帯割」を廃止し協会けんぽ並みに引き下げる——日本共産党の政策に「画期的な提案」と期待が広がっています。

国保料問題を取り上げてきた倉林明子参院議員は「生存権を脅かす国保の現状を大きく変えられる現実的で希望が広がる提案。ぜひ実現したい」と訴え、共感を広げています。

「10%」やめ内需拡大を

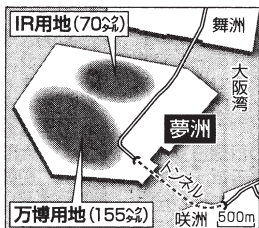


内閣参与の見解示す

大門実紀史参院議員は、財政金融委員会で「10%増税は日本経済を破壊する」と明言し内需拡大による財政再建を提案している藤井聡内閣参与の見解を紹介。「増税だけで財政再建した国はない」、「消費税増収分が他税の穴埋めになっている。応能負担に手を付けるべき」と主張しました。（11月22日）

日本共産党

大阪万博



なぜカジノと一体？

2025年万博の大阪開催が決まりました。会場は大阪湾の人工島・夢洲。維新の大阪府・市政が万博予定地の隣にカジノを中心とするIR（統合

「歓迎」一方で懸念

型リゾート）の誘致をめざしています。万博には、歓迎の声の一方で「なぜカジノと一体なのか」などの懸念が広がっています。日本共産党大阪府委員会は大阪万博のあり方についての討論を呼び掛けています。

あいはば野演習場

場外着弾事故

禁止訓練実弾 防衛省に要請

滋賀県高島市の陸上自衛隊・饗庭野演習場で演習中に発射された迫撃砲が場外に着弾、破片で民間車両が損傷する重大事件が発生しました。党滋賀県委員会と平和運動団体は国会内で防衛省に▽原因究明・再発防止▽屋内を除く切の実弾訓練の禁止などを求めました。山下よしき、大門実紀史両参院議員が同席しました。（11月20日）＝写真

